



社協氷上支所ぷちホッと通信

法人・賛助会員を募集しています

令和5年 **5月**号
vol. 45

現在社協では、自治会長様を通じて各世帯に社協会費のご依頼をしています。社協事業へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

また、法人会費・賛助会費のご依頼もしています。昨年度、法人会費は52の企業様より395,000円、賛助会費は2名様より33,000円のご協力いただきました。

今年度も社協は、「よりそい・うけとめ・ほっとかへん」をスローガンに地域の支えあいやふくしの町づくりの推進を行って参ります。

社協の事業に賛同いただける企業・事業所・団体・個人のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

<p>法人会費 5,000円/口</p>  <p>法人や事業所を対象としてご協力をお願いしています。年間を通じて各支所で受付を行っています。</p>	<p>賛助会費 3,000円/口</p>  <p>個人や団体を対象としてご協力をお願いしています。年間を通じて各支所で受付を行っています。</p>
--	--



子ども食堂パワーアップ!



氷上地域には、自治振興会がバックアップして運営されている子ども食堂が現在3か所あります。各所で毎月1回、土曜日又は日曜日に開催されています。

参加の方法は、学校を通じて子どもたちに出欠を聞いたり、当日参加の子どもや大人たちの連絡先を記入してもらったり、出来る範囲で緊急時に備える準備をされています。

コロナ禍で3年ほど顔を合わせての食事がなかなかできませんでしたが、5月からはお話をしながら食事をすることができるようになりました。まだまだ油断は禁物で、手洗いや手指の消毒はもちろん、個人の判断ですがマスクの着用もしながら、地域の子もたちを見守ってられます。



カレーライス、美味しかった!



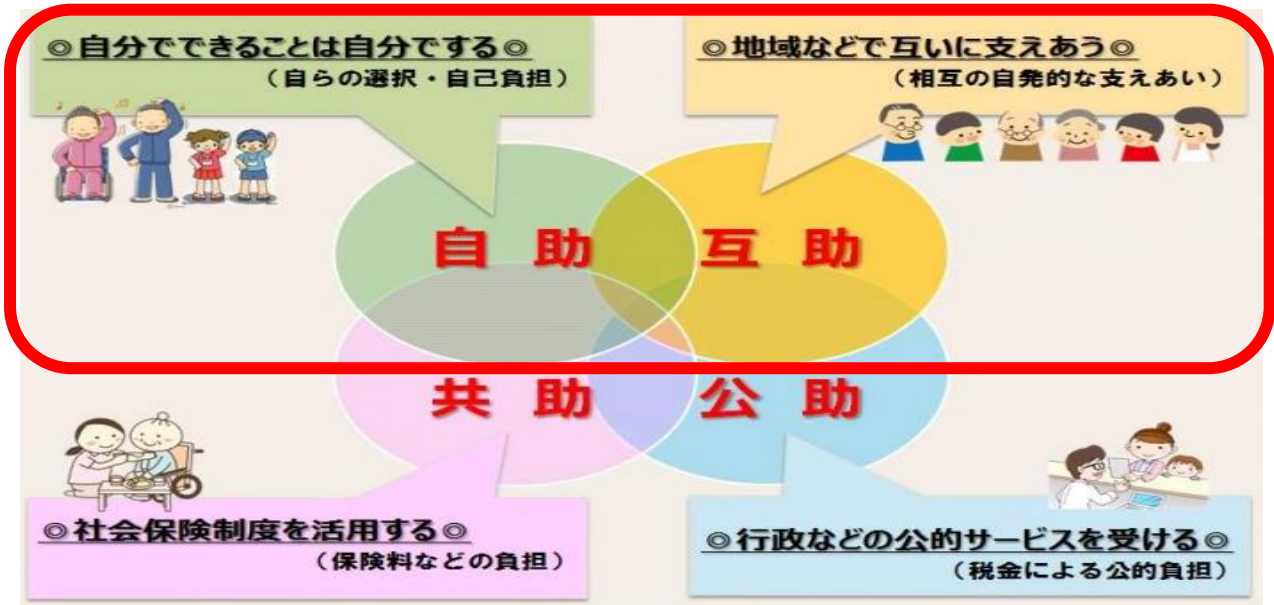
5月13日(土)
中央「にこにこキッチン」の様子



今回は中央地区の子ども食堂「にこにこキッチン」に行かせていただきました。子ども食堂の取組みをこれからもみなさんにお伝えしていきます。



知ってってけ？ 自助と互助



自助

自助とは、自分の住み慣れた地域で暮らすために、介護予防に取り組んだり、健康維持のために検診を受けたりといった自発的に自身の生活課題を解決する力のことを言います。

身近なところでは、近所付き合いや趣味活動、いきいき百歳体操やふれあい・いきいきサロンのような集いの場に参加して健康づくりや茶話会をすることといった社会参加をしていくことがとても大切です。

互助



互助とは、家族、友人、ご近所、趣味活動仲間など個人的な関係性を持つ人同士が助け合い、それぞれが抱える生活課題をお互いに解決し合う力のことを言います。

また、互助は費用負担が制度的に裏付けされていない自発的な支えあいであり、身近なところでは近所付き合いや見守り訪問、いきいき百歳体操やふれあい・いきいきサロンのような集いの場などがあります。

さらに、主に旧小学校区単位で地域を支える様々な立場の方が集まり、それぞれの立場から高齢者などが感じる生活の不安や困りごとについて住民主体で話し合う『**支えあい推進会議**』が行われています。

